

研究タイトル：

多自然河川構造物の水理・防災機能の評価と設計法



氏名： 神田 佳一 / KANDA Keiichi E-mail: kanda@akashi.ac.jp

職名： 教授 学位： 博士(工学)

所属学会・協会： 土木学会, 高専学会, 自然災害学会, 国際水理学会

キーワード： 洪水災害, 河川構造物, 河川環境, 河床変動, 流砂, 多自然川づくり

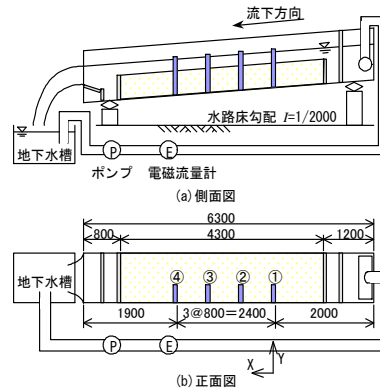
技術相談

提供可能技術：

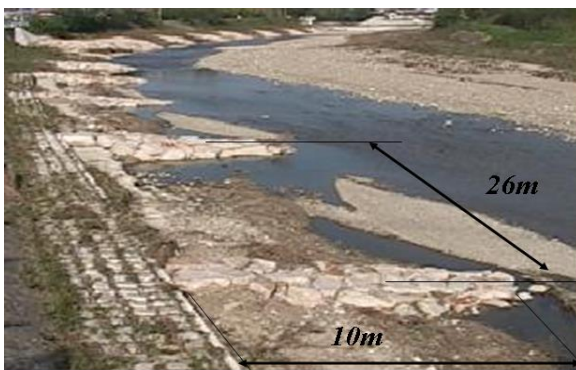
- ・多自然河川構造物の水理・防災機能の評価と設計法
- ・間伐木材及び竹材の河川工学分野における有効利用法
- ・河道内樹林の適正管理
- ・河口沿岸地形の動態予測とその制御法

研究内容： 多自然河川構造物の水理・防災機能の評価と設計法

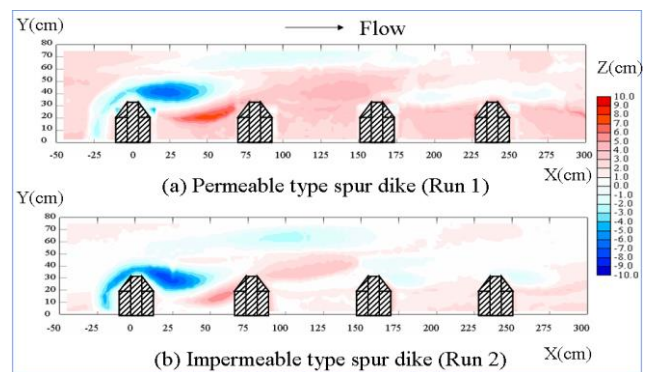
近年、河川を取り巻く自然環境に対する関心の高まりに伴い、全国各地で自然を意識した多自然川づくりが進められ、種々の工法が実地に検討されている。とくに、護岸や水制は施工箇所が多く、かつ施工延長も長いだけに、河川環境に与える影響が大きい。本研究では、明石川設置された石積み透過水制周辺の水理特性及び河床変動特性について詳細な模型実験と水理解析を行い、石積み透過型水制の環境機能および防災機能を評価するとともに、その増進を図るための工学的検討を行っている。



明石川水制群の実験模型



明石川水制群



河床変動に関する実験結果

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

ハイスピードデジタルカメラ K-II (カトウ光研)	
ADCP (River Surveyor) (CONTEC)	